

事務事業名	男女共同参画審議会開催事業		所属部局	市民部		単位番号	4003										
	☐ 実施計画事業		所属課室	みんなでまちづくり推進課		課長名	次長 野澤 淨										
			所属担当	男女共同参画担当		担当者名	杉山寿美江										
基本政策	基本計画体系	05	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政 策		07	男女共同参画社会づくりの推進	事業区分	01	一般	0	2	0	1	0	8	0	2	0	0	4
施策		07	男女共同参画社会づくりの推進		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 20 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	男女共同参画推進条例													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 男女共同参画の推進に関する重要事項について審議会を開催し調査・研究を行い、推進を図る。 審議委員 10名 任期 2年			事業費の主な内訳 (22年度)													
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)							
				非常勤職員報酬		240											
								計		240							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動
22年度活動実績 : 審議会の開催 4回
23年度活動予定 : 審議会の開催 5回予定
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等
男女共同参画審議会委員
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)
男女共同参画の進捗状況が条例、プランどおりに進んでいるか審議し、適切な意見を述べる。
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)
男女共同参画社会の実現を目差す。 あらゆる分野へ積極的に女性が参加するように、政策決定過程への女性の参画を促す。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 審議会開催回数	回
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 委員数	人
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 審議件数	件
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア ハーモニープラン数値目標達成件数	件
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	57	240	409	248	248	248	
	事業費計 (A)			千円	57	240	409	248	248	248	0
	人件費	正規職員従事人数		人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間		時間	40	160	200	100	100	100	
		人件費計 (B)		千円	178	714	792	396	396	396	0
		(A) + (B)			千円	235	954	1,201	644	644	644
活動指標		アイウ	回	1.0	4.0	7.0	3.0	3.0	3.0		
		アイウ	人	10.0	9.0	9.0	10.0	10.0	10.0		
対象指標		アイウ									
		アイウ	件	7.0	5.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
成果指標		アイウ									
		アイウ	件	30.0	30.0	40.0					
上位成果指標		アイウ									
		アイウ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	南アルプスハーモニープランに基づいた市の施策の実施状況について調査・検証を行い、男女共同参画を進めていく上で発生した問題等を審議するために、平成20年7月設置された。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	ハーモニープラン策定から5年を経過したため、22年度から審議会の中で見直しを行っている。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている 【内容！】 ☒ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	男女共同参画に関する重要事項を調査・研究する組織であり現状では改革改善の必要はない。
H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	男女共同参画審議会開催事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	---------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 男女共同参画の施策に関する重要事項を審議することにより計画的に事業を進めることができる。このため市の政策体系に結びつく。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 審議会は幅広い観点からの意見や専門的な意見を市の男女共同参画に関する施策に反映させるため設置されたものであり、市が行うことは妥当である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 審議会は男女共同参画に関する重要事項について審議・調査するものであり男女共同参画を推進していくために維持・継続は妥当である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 男女共同参画の推進状況について調査・審議する事業であり成果の向上を図る事業ではないと思われる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 男女共同参画を進めていく上で審議会での意見は非常に重要であるため影響はある。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 男女共同参画を推進していく中で審議会は重要なチェック機関であるため休止・廃止はできない。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 事業費は委員報酬のみであり削減余地はない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 審議会の運営に係る業務でありこれ以上削減余地はない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 市として男女共同参画を推進する事業であり、受益者負担を求めるものではない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	男女共同参画が浸透していく中で推進に関する調査・審議を行うことは重要である。目的、有効性・効率性、公平性とも適切である。今後も現状維持で実施していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					